

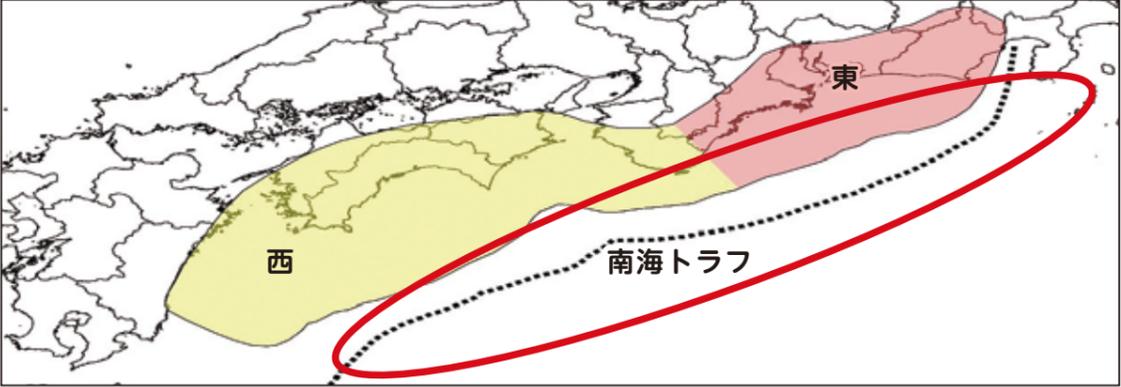


事前避難について理解しましょう

市では、地震発生後わずかな時間で浸水被害が生じる地域を「事前避難対象地域」として設定し、浸水津波ハザードマップを作成しております。事前避難について理解し、事前避難が求められた場合の対応についてご家族で話し合っておきましょう。

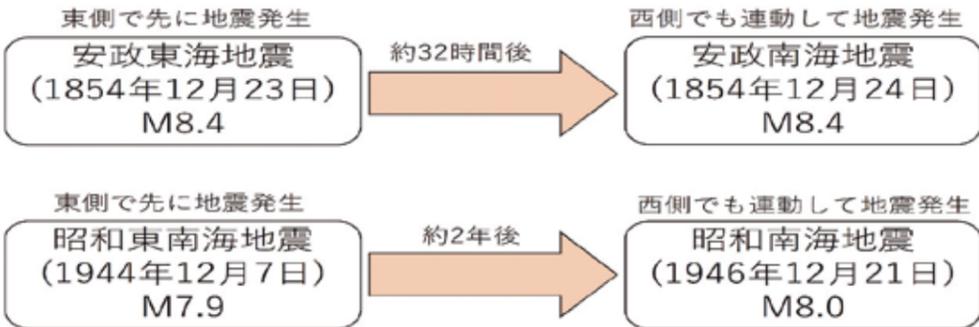
▼南海トラフとは

南海トラフとは、駿河湾から九州東方沖まで続く海底の溝(トラフ)で、非常に活発で大規模な地震発生帯と言われています。南海トラフでは、過去に海溝型の巨大地震が繰り返し発生し、大きな被害をもたらしてきました。



▼南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフでは、過去に想定震源域の東側と西側で、大規模地震が時間差で発生する事例があります。



そのため、南海トラフ地震の可能性が高まったと評価された場合に、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。この情報は、想定震源域内で異常な現象が観測された場合に、**気象庁**より発表されます。

異常な現象の種類

- 半割れ
 - 南海トラフ東側で大規模地震 (M8クラス) が発生
 - 西側は連動するの?
- 一部割れ
 - 南海トラフで地震 (M7クラス) が発生
 - 南海トラフの大規模地震の前震か?
- ゆっくりすべり
 - ひずみの変化
 - ひずみ計による(変化を)観測
 - 跳ね上がり(地震発生)
 - 強くくっついている境界
 - ゆっくりすべり

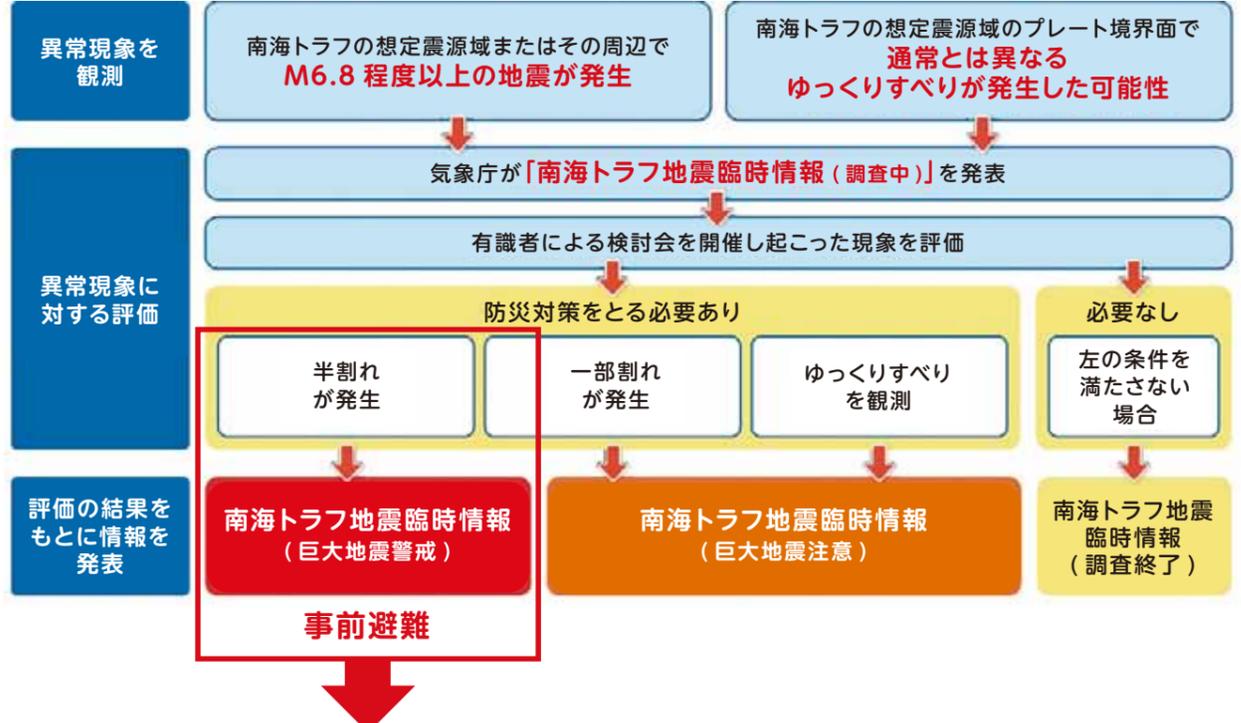
出典：内閣府 南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応ガイドライン【第1版】

▼南海トラフ地震臨時情報の種類と発表の流れ

臨時情報の種類

キーワード	キーワードが付与される条件
調査中	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフの想定震源域またはその周辺で M6.8 以上の地震が発生した場合 通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性がある場合
調査終了	<ul style="list-style-type: none"> 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない場合
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフの想定震源域で M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生した場合 (一部割れケース) 通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合 (ゆっくりすべりケース)
巨大地震警戒	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフの想定震源域で M8.0 以上の地震が発生した場合 (半割れケース)

臨時情報発表の流れ



南海トラフの西側で「半割れ」現象が発生し、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表された場合に、市は事前避難対象地域内の住民に事前避難を呼び掛けます！！